

あまのこ 広報

No.753

2024年(令和6年)

1.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

新年

年頭の御挨拶



関川村発足70周年を迎えて

関川村長 加藤 弘

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ軍事侵攻に加え、中東でも紛争が勃発し、無残に破壊された街並みや犠牲者の悲惨な状況をテレビ越しで見つめながら、平和の大切さ、有難さを改めて実感した年でした。

村では、一昨年8月豪雨で被災した公共施設等の復旧中ですが、米坂線については、JR東日本から具体的な復旧の方針が示されていません。引き続き、県や沿線自治体と連携を図りながら、早期復旧に向けた取り組みを進めます。

猛威を振るった新型コロナウイルスは、昨年5月に5類感染症となり、昨年はウィズコロナのもと、アツプダウン関川マラソン大会や大したもん蛇まつりが盛大に行われました。

大したもん蛇まつりでは、大蛇の担ぎ手として関川中学校の生徒やIVUSAの大学生など、若い皆さんも参加いただき、4年ぶりということもあって、久々に村に熱

気と賑わいが戻ったように感じました。そのメイン会場でもある道の駅では、大したもん蛇まつりに合わせて大型遊具をオープンさせ、土日には、お子様連れの家族で、新たに整備した駐車場も込み合うほどの賑わいでした。

こうした中、関川村自然環境管理公社では、道の駅での食の提供の一環として、ちぐら館で地元そばを提供することとし、現在の準備を進めています。

一方で、村内の人口減少は進み、保育園児も減少していることから、大島保育園を下関保育園に統合し、「関川なないろ保育園」として4月からスタートすることにいたしました。単に統合するだけでなく、これを機に、保育の充実に力を入れていきたいと思っております。

今年、関川村発足70周年に当たる年です。これからの子どもたちのために10年先20年先を見据えて、希望の持てる関川村を築いていきたいと思っております。

結びに、本年が皆様にとって良き年となりますように、皆様のご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹賀

2024年(令和6年)辰年



明るく希望の持てる村に

関川村議会議員

小澤

仁

新年明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を村民の皆さまとともに迎えることを大変うれしく思います。

昨年は、一昨年の8月に村を襲った豪雨災害の復旧、復興の速度を上げて取り組んだ一年でした。そんな中、夏場には過去に例をみない酷暑の影響を受け、農家の皆さまをはじめ、大勢の村民の方々が大変な思いをされました。

ロシアとウクライナの紛争に始まった物価高騰もまだまだ落ち着くところが見えない状況であると実感しています。

そうした厳しい環境を乗り越え、心の豊さと日々の暮らしに喜びを実感できる村づくりを進めていくため、村民の皆さまと協働しながら、自治力をさらに高めなければならぬと考えています。

我々、関川村議会は、昨年7月に改選を迎え、8月1日より新たな議会としてスタートしました。3名の新しい議員が加わり、私も議長を拝命し、その重責に身の引き締まる緊張感を持った4か月を過ごしてまいりました。

変化を恐れず常に改善する議会を目指す所存です。

現在は、国も地方自治体も、長引く景気の低迷や少子高齢化社会の到来などさまざまな課題に直面し今まさに、地域づくりそのものが大きく変化してきています。

村でも幾つもの課題に取り組んでいます。議会としても色々な形でアイデアを出し、政策の立案が出来る議会運営を目指すことで、単に行政の追認機関だけではない、二元代表制のあり方を模索する議会を目指したいと考えています。

さらには、時代の潮流を的確にとらえ、新たな視点で村の歴史に学び、先人たちが幾多の苦難の中から築き上げた地域の力を発揮できるようにしなければなりません。皆さまには議会への、これまで以上の、ご理解、ご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

結びに、今年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



遠くは県外からも

谷人倶楽部

新そばまつりを開催

七ヶ谷いきいき笑顔プロジェクト・谷人倶楽部の「七里そば・新そばまつり」が12月2日と3日の両日、今年も開催されました。

地元七ヶ谷地区の転作田で栽培された蕎麦粉（そばこ）を使った手打ちそば、それが「七里そば」です。天ぷらそばに使った野菜も、もちろん地元産です。

両日、1日100食限定の

予約制でしたが、2日間で300人近くが訪れたそうです。新潟市や五泉市、県外から来られた方も…。

小さいお子さんから高齢の方まで、おいしそうにそばを口に運んでいました。

また、会場の安角ふれあい自然の家の玄関口では、「くろもじ茶」や季節の野菜、今年には貴重な一等米のコシヒカリの販売も行われました。



切り餅320,000枚って

どれだけの量になるの？

上野新農業センター

上野新農業センターでは、贈答用や個人の依頼による杵つきの「光兔もち」づくり

スタツフみんなでフル回転！11月から12月のこの時期、

1俵60kg換算で200俵の餅をつくそうです。切り餅にする

ると32万枚。6枚入りパック

で5万3千パックあまりにもなるそうです。

いで湯の関川ふる里会の「お正月のふるさと便」に

も、光兔もち5種セットとミニ鏡餅（ふくで）が送られました。

こちら忙しい年末を…

味噌の仕込みや袋詰め

生活改善研究会



生活改善研究会の皆さんも、この時期は大忙し。ふる里会員に送る「しいたけ味噌」づくり、味噌の仕込みなどに連日頑張っていました。

この日も、「匂づくり味噌」に欠かせない麴（こうじ）の仕込みや、注文があった分の袋詰めを…。

この「匂づくり味噌」は2月の「雪のふるさと便」でふる里会員に届けられます。

米坂線の復旧に向けた取組

令和4年8月豪雨によって甚大な被害を受けた米坂線に関するこれまでの取組などをお知らせします。

米坂線は、村民の生活路線として、また、日本海側と太平洋側を結ぶ広域交通ネットワークの一部として重要な公共交通機関であることから、村では、発災直後から米坂線整備促進期成同盟会などを通じて、国やJR新潟支社へ早期復旧に向けた要望活動を行っています。

今後も早期復旧に向け、ねばり強く活動を行っていきます。



関川村と村上市の境界付近（R5.12）

これまでの米坂線に関する活動の状況（主なものを抜粋）

時期	内容
R4.8.3～4	●発災。鉄道設備等の被災のため、坂町駅から今泉駅間が不通となる。
R4.8.12	●JR東日本が代行バス運転を開始
R4.8.12	●JR新潟支社へ早期の復旧を要望（米坂線整備促進期成同盟会）
R4.8.20	●谷公一防災担当大臣が村の被災状況を視察
R4.9.4	●岸田文雄総理大臣が村上市の被災地を視察した際、村の被災状況を説明
R5.1.16	●JR新潟支社へ早期普及の要望（新潟県、山形県、米坂線沿線市町村）
R5.4.25	●JR新潟支社が復旧費86億円、工期5年と発表
R5.8.31	●米坂線整備促進期成同盟会総会（写真）
R5.9.8	●JR米坂線復旧検討会議（JR新潟支社、沿線市町村で意見交換）
R5.10.24	●JR新潟支社へ早期復旧を要望（米坂線整備促進期成同盟会）



米坂線整備促進期成同盟会総会（R5.8.31）

関川村を会場に関川村、村上市、小国町、米沢市などの関連市町村をはじめ、国・県・市町村の議員が参集し、米坂線復旧要望について意見交換が行われました。

JR代行バスの待合所が設置されました（越後下関駅）

JR代行バスの越後下関駅では、駅から離れた県道添いが乗降場所となっているため、代行バスを待つ間の待合所がない状態が続いていました。

この度、所有者の斎藤信一さん（下関）のご厚意によりご自身が所有するカーポートをJR代行バスの待合所として使用させていただくことになりました。

利用者の皆さん、どうぞ利用ください。

●待合所の場所

旧鶴岡屋前のカーポート

（新潟交通観光バス下関営業所の向い）



代行バスが停車する近くのカーポートが待合所です

ゆくむ来館者

400万人達成

400万人目は

山本翔太さん

平成9年7月18日にオープンした桂の関温泉ゆくむ。令和5年11月27日午後6時過ぎに入館者400万人を達成しました。

400万人目の入館者は山本翔太さん（村上荒川地区、21歳）でした。

山本さんは週に1〜2回、ゆくむを利用されているそうで、「一番近いということもありますし、サウナが好きで、外気浴もでき、手軽さがいいです。」との事。



山本さんには温泉宿泊利用券3万円分と「にゃん吉」オリジナルポトルが村長から贈られました。おめでとうございます。



新しい保育園は

「関川なないろ保育園」

次年度からスタート

令和6年4月1日、下関保育園と大島保育園が統合し、現在の下関保育園の施設を活用して開所する新しい保育園の名称が「関川なないろ保育園」に決まりました。

この名前は、公募で応募のあったものの中から選考委員会を開いて選考。12月開催の村議会で条例改正を行い、決定したものです。

ひとりひとりの持つ個性を尊重し、子どもたちがのびのび健やかに育ち、笑顔が七色に輝くように…という思いが、この名前には込められています。

村に105万円を寄附

下越生コン建設さん

保育園備品と災害復旧に…



下越生コン建設株式会社（代表取締役・菅原正夫さん、本社・上土沢）様から12月1日、村に105万円を寄附していただきました。

目として55万円、令和4年豪雨災害のお見舞金として50万円、合わせて105万円です。55万円は、来年度統合する保育園の遊具等の整備費として、50万円については災害復旧費として使わせていただきます。

下越生コン建設株式会社様からはこれまで「関川村で事業展開している企業として村に貢献したい」との思いから、節目、節目に多額の寄付金をいただいています。ありがとうございます。

新潟県ジュニア展覧会

関川小から奨励賞に7作品

第54回新潟県ジュニア美術展覧会で関川小学校の児童7人の作品が奨励賞を受賞しました。

この展覧会は、新潟日報社・新潟県教育委員会などが主催し、3歳から中学生までの子供たちが参加する美術展です。今年は約23,000点の応募があり、特賞、優秀賞、奨励賞に約1,300点が選ばれました。

受賞された皆さん、おめでとうございます。



「イナズマ山」

石田 真悠さん(4年,下関)



「ラジカセのせんすいかんで
海のたび」

横山 諒さん(3年,打上)



「すすむよ鳥山」

高橋 倫央士さん(4年,下関)



「かみなり山」

駒沢 来優さん(4年,下関)



「うかぶおぼけ山」

佐藤 煌晟さん(4年,朴坂)



「地域探検の思い出」

渡邊 莉央菜さん(6年,高田)



「いきたくないやま」

川崎 栄地さん(4年,鮎谷)

村のわだい

関川村から 4人が功労賞受賞

更生保護顕彰式

第70回新潟県更生保護顕彰式で関川村の保護司会から3名、更生保護女性会から1名が功労者表彰を受章されました。

— 保護司会 —

【関東地方更生保護委員会委員長表彰】

平田 誠さん(小見)

【新潟県保護観察所調表彰】

高橋 一裕さん(上土沢)

【新潟県保護司会連合会長家族功労表彰】

田村 良子さん(下土沢)

— 更生保護女性会 —

【新潟保護観察所長感謝状】

近 イツ子さん(大島)

おめでとうございます。

田村紗雪さん特別賞

社会を明るくする運動 作文コンテスト

第73回“社会を明るくする運動”新潟県推進委員会作文コンテストで関川小学校6年・田村紗雪さん(平内新)の「だれもが生きやすい世の中に」が特別賞(新潟県BBS連盟会長賞)を受賞しました。

県内小学校122校から2,443人、中学校89校3,143人から応募があり、村上岩船保護司会管内から小学生2人、中学生1人が特別賞に輝きました。

田村さんの作品は、広報せきかわお知らせ版12月15日号と一緒に全世帯に配布した「光風(保護司会報第90号)」に全文が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

三人が準特選に

新潟県競書大会

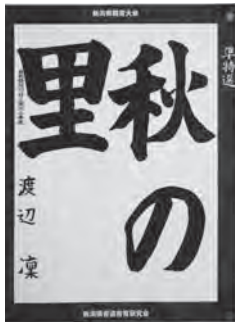
令和5年度（第73回）新潟県競書大会小学生の部門で、関川小学校の児童3人の作品が準特選に選ばれました。
この競書大会は、新潟県書道教育研究会が主催。小学生部門には県内310校から8、332点の応募があり、特別賞、特選に次ぐ準特選に選ばれたものです。（敬称略）



吉光 柑奈（3年、下関）



伊藤 環（3年、久保）



渡辺 凜（4年、大島）



新潟駅で、めざまの里で 村の魅力を発信

関川小6年生

11月30日、関川小学校の6年生が新潟駅と山形県の道の駅・めざまの里の2グループに分かれて村の観光PR活動を行いました。
総合的な学習の時間で調べた村の良さをまとめた手づくりのパンフレットを作成。新潟駅では、関川村をアピールする手づくりののぼり旗を掲げ、駅を利用する人や観光客にパンフレットを手渡して、村の魅力を紹介しました。

関川村長賞に近 理葉さん

中学生の税に関する作文

村上税務署管内の中学生を対象に募集した「税に関する作文」コンクールの入選作品が決まり、関川村長賞に近 理葉さん（3年、大島）の「未来のために」が選ばれました。

「租税教室で見たDVDをきっかけに、税金がどれだけ私たちの生活を支えてくれているのかということに気付くことができた。もし、税金というシステムがなかったら、私たちは学校に行けていなかったかもしれない。」



おめでとうございます。

税金は世界を救っている。私はまだ働く人の大変さは分からないが、大人になったらしっかりと働いて税金を納め、少しでも多くの人を支えていきたい」といった内容の作文です。

船山さんと渡邊さんが奨励賞

税に関する絵はがきコンクール

租税教育の一環として村上法人会助成部会が募集した「税に関する絵はがきコンクール」で関川小学校6年生2人の作品が奨励賞に選ばれました。

奨励賞を受賞したのは次のお二人です。

船山 明日香さん（沼）

渡邊 莉央菜さん（高田）

おめでとうございます。

第11回となる今年の絵はがきコンクールには、村上税務署管内9校の小学校6年生から203点の応募があり、11点が賞に選ばれました。

今月は関川小学校からの紹介

学校巡回公演「和楽器鑑賞会」

12月6日(水)、公益社団法人日本三曲協会の方々をお招きし、和楽器鑑賞会を開催いたしました。子ども達が初めて見る箏と尺八による「春の海」や三曲合奏(箏・三味線・尺八)による「紅蓮華」などの演奏を聴きました。また、和楽器の特徴や音の出し方なども教えていただきました。

最後に、箏と三味線、尺八の生演奏に合わせて、みんなで気持ちよく「ピリブ」を合唱しました。

本物の和楽器の音色や音の重なりを楽しみながら、鑑賞することができた貴重な体験となりました。



6年生「薬物乱用防止教室」

6年生を対象に、「薬物乱用防止教室」を実施しました。

当日は、学校薬剤師の藤井次和様と、県薬物乱用防止指導員の高橋かな江様を講師にお招きし、「愛する自分を大切に～薬物乱用はダメ、ゼッタイ」をテーマにご指導していただきました。子ども達は、薬物の体への影響や市販の薬を決められた量以上摂取することの危険性などを学びました。

また、実際に薬物を止められない人の話を聞いたり、薬物が身近になっていることなどを教えていただいたりすることで、「薬物は絶対にダメ」という強い気持ちをもつことができた子どもたちでした。



標語で優秀賞1人 作文は最優秀賞、特別賞も

人権標語コンテスト/人権作文コンテスト

須貝汐那さんの作文は県大会でも優秀賞

新潟地方方法務局村上支所と村上人権擁護委員協議会が募集した小学生の「人権標語コンテスト」、中学生の「人権作文コンテスト」で関川村から多くの皆さんが賞に輝きました。

小学生の人権標語コンテストでは、次の2人が受賞。(敬称略)

【優秀賞】

堀 いろは (6年、湯沢)

「人はみな 愛されるために いるんだよ」

【佳作】

近 ^{ひろむ}大夢 (6年、大島)

「たすけてよ その一言を 逃さない」

中学生の作文コンテストの受賞者は、次の皆さんです。(敬称略)

【最優秀賞】

須貝 ^{せな}汐那 (3年、湯沢)

「個性を思う気持ち」

【特別賞】

渡邊 ^{こあ}心温 (2年、下関)

「車椅子の方に出会って」

佐藤 ^{もえか}萌加 (2年、安角)

「差別のない大空を見上げるために」

【優秀賞】

高橋 ^{とうま}斗馬 (3年、大石)

「高齢者への思いやり」

藤井 みゆき (3年、下関)

「らしさの尊重」

田村 ^{いろは}色葉 (1年、下土沢)

「気付き」

近 ^{りよ}理葉 (3年、大島)

「自分のすがた」

人権標語コンテストには管内16の小学校から614人が応募。中学生の人権作文コンテストには9校、167人が応募し、その中から受賞者が選ばれました。

また、人権作文コンテストで最優秀賞を受賞した須貝汐那さんの作文は県のコンテストに送られ、優秀賞を受賞しました。

おめでとうございます。



できることからはじめよう

地球温暖化や脱炭素の取組
小学校で出前授業

12月8日、関川小学校の3年生を対象に、地球温暖化や村の脱炭素の取組についての出前授業が行われました。

役場の脱炭素推進室職員が講師となり、環境教育の一環として実施したものです。

当日は、「地球温暖化と村のとりくみについて」小学生向けに作ったプレゼンテーション資料を使って、地球温暖化の原因や影響、地球温暖化を止めるためにはどうしたらいいか、関川村では何をするか…といった内容を分かりやすく説明しました。

最後に、次のメッセージで授業を締めくくりました。

できることから始めてください。皆さんの行動が地球温暖化を止めることにつながります。今日のはなしが「何かやってみよう」と思うきっかけになればうれしいです。

豊かな森を次世代につなぐため 山の担い手育成講座

11月18日「せきかわ山の担い手育成講座」が昨年に引き続き開催されました。

当日の参加者は6名。あいにくの天候でしたが、ブナ苗木の植付け作業から、愛用のチェーンソーを使ってスギの倒伐作業、刈り払い機やチェーンソーを安全に使うための安全対策までを行いました。

この講座は、持山を適正に管理したい、里山の整備を自ら行いたいなど、山に関心のある方を対象に、森林・林業の基礎知識と安全な山作業を習得することで地域の山づくりに貢献する担い手の育成を目指し、森林環境譲与税の活用により実施しています。



宝くじ助成で活動備品を充実させました



宝くじの助成は、(一財)自治総合センターが行っている宝くじの社会貢献広報事業の一環です。地域社会の健全な発展と住民の福祉向上を目的として、地域で行う事業または活動に必要な施設・整備等へ助成しています。

今年度は、上関コミュニティ、高田集落、コミュニティ四ケ字で宝くじの助成を受け、集落施設の備品の整備や拡充を行いました。



上関：発電機



四ケ字：会議用テーブル・座椅子



高田：会議テーブル・座椅子

CT検査豆知識

県立坂町病院 放射線科 三澤 智志

突然ですが、関川村のみなさまにクイズです。放射線科にある「CT」って何の略かご存じでしょうか？

いきなりクイズを出しておいて何なんです、答えはちよっぴり難しいです。「CはComputed「コンピュータのC」」「TはTomography「トモグラフィのT」両方の頭文字をとって略して「CT」と呼んでいます。でもトモグラフィって何ですか？って話になりま



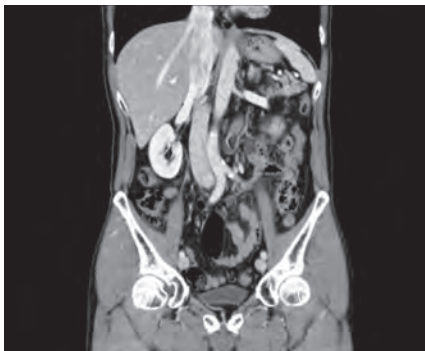
すよね。トモグラフィは断層撮影という意味で、簡単に言うと輪切りの写真が撮れるってことなんです。

次に、X線CT検査の流れについて紹介します。まず、検査用のベッドの上に横になってももらいます。装置の真ん中にある空洞に体が入るようなベッドを動かして、空洞に入った部分に360度グルッとX線をあてて撮影していきま



す。静脈注射で造影剤を体の中に取り入れると、「黒く灰色」で表示された臓器に「白」に写る造影剤が染み込みます。染み込み方の違いによって、正常な部分と異常な部分との間に濃淡差がつき、病気を見つけて出しやすくする仕組みです。造影剤は、その名の通り「影を造る薬」なんです。

最後に、X線被ばくについてです。被ばくは、なるべくしないに越したことはありません。それでもなお、病気の有無や病気の状態を把握するメリットが大きいと判断した場合に、検査をうけてもらっています。X線の量も、必要以上に当てすぎないよう患者さんの体格に合わせて、コンピュータで制御しています。坂町病院のCT装置は、しっかり線量管理されていますのでご安心ください。



CT検査豆知識いかがでしたか？ 検査の時、何か気になることがございましたら、お気軽にお声がけくださいね。

*このコーナーへのお問い合わせは、

☎ 62-3111

会員制婚活マッチングシステム

婚活マッチングシステム



半年会員制度

登録キャンペーン実施中

入会登録料 3,000 円

※新規加入者に限ります

「ハートマッチにいがた」は新潟県が運営する一対一の出会いをサポートする会員制の「婚活マッチングシステム」です。

村でも、半年会員制度の登録料 3,000 円の 2/3 を補助します。

詳しいことは、「ハートマッチにいがた」で検索するか役場地域政策課へお問い合わせください。☎ 64-1478



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは教育課へ
TEL 64-1491



村で働く楽しさややりがい

地元事業者から学ぶこと

未来のハローワーク開催

11月29日、村民会館アリーナで「未来のハローワーク」が開催されました。

対象は、関川小学校の6年生、関川中学校の1〜3年生。

◎様々な職業（会社、事業所等）の説明を聞いたり体験したりして、「仕事」への理解を深め、将来のイメージや夢をもつ

◎会社や事業所、そこで働く方の魅力を学び、関川村やそこで働くことの良さを見付ける

…ことをねらいとして、地域学校協働本部と学校運営協議会の主催で開催されたものです。

はじめに村議会副議長・鈴木紀夫さんが「議会って!？」

と題した講演を行い、村議会議員の仕事や役割などを紹介。その後10班に分かれて、参加した事業所のブースを順番に回り、事業概要をはじめ村で働く意味や楽しさ、やりがいなどについて説明を受けました。生コンづくりの実演体験やVRゴーグルの体験も…。

参加した児童・生徒たちは、瞳をキラキラ輝かせ、真剣に説明に聞き入っていました。自分たちの将来について考える良い機会となりました。今回参加していたいただいた事業所は、次のとおりです。（敬称略）

- ◇荒川水力電気株式会社関川事業所
- ◇女川ハム工房
- ◇下越生コン建設株式会社
- ◇グロ・バルウエーハズ・ジャパン株式会社新潟工場
- ◇関川村自然環境管理公社
- ◇関川村社会福祉協議会
- ◇関川村森林組合
- ◇株式会社辻井製作所新潟工場
- ◇古民家カフェ元麴屋
- ◇アバナード株式会社

4年ぶり!!

日ごろから磨いた歌声、踊りを披露

勤労感謝の日に村民芸能祭開催

関川村民芸能祭



歌って、踊って、賑やかに…。村民芸能祭が11月23日、4年ぶりに村民会館大ホールで開催されました。

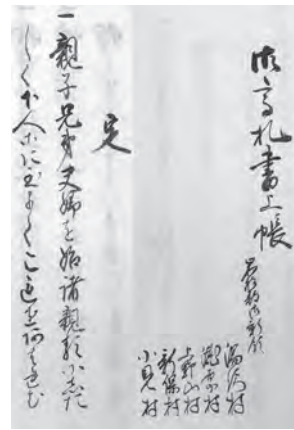
この日出演したのは26組。えちごせきかわ太鼓龍泉会の皆さんの太鼓演奏で幕を開け、関川小学校ダンスクラブの子供たちのダンス、白鷺会グループの女性15人による花笠音頭と続きます。カラオケでは、

すてきなドレス姿で熱唱も。会場にいられた200人を超える観客席から、盛んな拍手が送られていました。



御高札書上帳(幕府の民政基本法)

「歴史とみちの館」所蔵・平田家文書を読む
(村歴史文化財調査委員 渡辺 伸栄)



幕末の関川村は会津領

激動の幕末、徳川將軍に最も頼りにされた会津藩は多事多難。その財政支援のため、関川村をはじめ越後の幕府領の多くが、会津領に編入されました。

会津藩主は京都守護職を務め、新選組はその配下。ですから、もしかすると新選組隊士の給料には、関川村からの年貢分も入っていたかもしれませぬ。それはさておき、**高札書き上げ提出の指示**

会津藩代官所から新領となつた小見村等へ、過去に出された幕府の高札を書き上げて提出するよう指示がありました。

冒頭部分。

幕府の民政基本法

これらの高札は、幕府の民政基本法とも言える法令で、教科書に出るくらい有名です。年代順に、主な内容を簡単に紹介してみます。

- ①天和二(一六八二)年
キリスト教禁止。内報者へは銀貨五百枚のほうび、隠したら重罪
- ②正徳元(一七一一年)
親子・兄弟・夫婦・親類仲良く、奉公人には慈愛を。家業おこたらず、うそ・ばくち・けんか・人身売買は禁止
- ③正徳元(一七一一年)
火付け禁止。火事場で金銀等をひろい取ることも禁止

きちんと保管してあるか、新領主側としては村の行政を試したかったのかもしれない。小見組の五ヶ村は連名で四本の高札を書き写して提出しました(写真・

④明和七(一七七〇)年
徒党(仲間)の団体・強訴(大勢での訴え)・逃散(村からの一斉逃亡)の禁止。内報者へは銀貨百枚・苗字帯刀のほうび
江戸時代二百六十年の平和
現代の私たちから見れば、

厳しい規制もあります。しかし、戦乱・戦国の世が百四十年も続き、ようやくもたらされた江戸時代の平和。その基となったのがこれらの法令です。案外、当時の人々には受け入れられたのではないでしょう。

江戸時代が武士による厳しい農民統制の世だというイメージは、一面的です。



〈原文と解説は歴史館に展示 又は、下のQRから〉



図書室の窓から

村民会館図書室

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。図書室は4日午後1時から開館しています。是非ご利用ください!



おすすめ

『犬と人の絆~なぜ私たちは惹かれあうのか~』アレクサンドラ・ホロウィッツ 著

犬の認知科学の権威が、現在の犬文化を多面的に考察し、人と犬との暮らしの奇妙で驚くべき、そして矛盾する側面を明らかにします。



今月の図書館バス

13日(土)、28日(日)

虹色と、汽車のメロディーが目印です!

20日(土)は

絵本の読み聞かせ おはなしの会

村民会館の図書室で開催! 無料です!

時間は10時30分からです。ブルーベリーのみなさんが贈る、ステキなおはなしの世界。「おはなしの木」に花を咲かせてみませんか? 大人の方も大歓迎です!!



蔵書点検のお知らせ

1月22日(月)~1月26日(金)

※蔵書点検の為、休館とさせていただきます。この期間中の返却は、村民会館入口の【返却BOX】へお願いします。

毎週水曜日がお休みです。平日13時~17時15分まで、土・日・祝9時~17時まで開館しています。



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

◆冬関川隊始動しました！

2月に開催される「七ヶ谷雪ほたる祭り」に「おおいし・どもんご祭り」に向けた準備がIVUSAでもスタートしました。今回は雪ほたる隊のリーダーを務める4名に意気込みを聞いてきました！どもんこの方は次回になります。

◆質問項目

- ①活動参加動機
- ②あなたにとって関川は？
- ③最後にひとこと！

〜雪ほたるリーダー〜

◎馬場千瑛（ばばちさ）

滋賀大学 4年

①関川村の方々とお話しすればするほど、その温かさや村への想いに惹かれ、また帰りたいと思っただけです！

♪ ②不思議とほっとする場所です

③学生みんなで一丸となってお祭りを盛り上げ、関川村を楽しみます！



◎甲斐樹季（かいたつき）

立命館大学 3年

①去年関川に訪れて関川に行つてよかったと感じたので今年も参加します！夏に参加出来なかったりベンジも兼ねて！

②人が温かくてまた行きたくなる場所

③一年ぶりの関川全力で盛り上げて楽しみます！



◎松井登夢（まついとむ）

龍谷大学 2年

①去年の雪ほたる祭りと今年の大きなももん蛇祭りに行つて、また行きたいと思っただけです！

②また行きたい！と思わせてくれる場所です



◎須藤陽太（すどうひなた）

国土館大学 2年

①「小さくてもキラリと光る村」を目指してどのような取り組みをしているのかを学びたいと思っただけです！

②今回が初参加ですが、とても温かい場所と聞いています！

③学生たちの元気を皆様に届けられるよう頑張ります！



あなたを支える相談窓口

一人で悩まず、お気軽にご相談ください。気持ちや体調の異変は、あなたの身体から発せられる危険信号です。誰かに相談することで、深刻な事態になること、自殺を未然に防ぐことができます。秘密は堅く守られます。※相談は無料ですが、別途通話料金がかかります。

新潟県の各種相談窓口

厚生労働省相談窓口
「まろうよ ころ」

※厚生労働省の相談窓口では、SNSやチャットでも相談できます！

こころの悩み・子育ての悩み		
関川村役場 健康福祉課 ☎ 0254-64-1472	平日（祝日除く） 8:30~17:15	
総合相談（生活全般の悩み）		
関川村社会福祉協議会 ☎ 0254-64-0111	平日（祝日除く） 9:00~16:00	
新潟県パーソナル・サポート・センター ☎ 025-250-5160	平日（祝日除く） 9:00~17:00	
こころの悩み		
村上保健所 ☎ 0254-53-8369	平日（祝日除く） 8:30~17:15	
新潟県こころの相談ダイヤル ☎ 0570-783-025	毎日24時間	
学校の悩み		
関川村教育委員会 教育課 ☎ 0254-64-1491	平日（祝日除く） 8:30~17:15	
新潟県いじめ・不登校等相談電話 ☎ 025-258-1212	毎日24時間	

戸籍の窓

●11月16日～12月15日までの届出●

お誕生おめでとうございます

なご
椰 ちゃん(女) 上 関
五十嵐 紀人・美里 さん

すえながくお幸せに

{ 小 池 優 弥 さん 田麦千刈
{ (山 田) 風 香 さん (胎内市)

{ 神 田 恭 真 さん 下土沢
{ (田 村) 舞 子 さん (下土沢)

{ (菅 原) 恵 斗 さん (胎内市)
{ 横 山 樹 奈 さん 久 保

ごめい福をお祈りいたします

河内 キク さん	104歳	上野山
小野 光彌 さん	91歳	下 関
丹内 佳久 さん	58歳	金 丸
井深 保子 さん	82歳	大 島
野沢 ミネ さん	100歳	下 関
佐藤 幸子 さん	59歳	下 関
岡田 ツネ さん	93歳	下 関
小池カツ子 さん	70歳	下川口
船山 稔 さん	86歳	沼
菅 トミ さん	96歳	小和田
内山カオル さん	87歳	大 島
高木 フミ さん	101歳	下 関
平田 寅夫 さん	85歳	辰田新

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

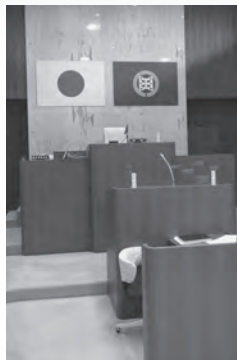
人の動き

令和5年11月末現在 ()は前月対比

世 帯 数	1,842世帯(+1)
総 人 口	4,850人(-9)
男	2,344人(-4)
女	2,506人(-5)

(転入 10人 転出 5人)
(出生 0人 死亡 14人)

議会モニター募集します



関川村議会では、議会モニターを募集しています。

議会モニターは、

- 会議を傍聴し、会議の運営、質問、答弁などに関する意見を寄せる
- 議会だよりを読んでアンケートの回答する
- モニター会議（議員との意見交換）に出席する

などの活動を通じて、村民の立場から分かり

やすい議会、開かれた議会づくりを目指そうというものです。

□対 象 村内に住所のある18歳以上の方

□募集人数 10名以内（選考審査あり）

□申込締切 令和6年2月15日（木）

※詳しいことは、1月1日号の広報せきかわと一緒に配布した募集チラシをご覧ください

◇関川村議会事務局 ☎64-1494

栄養教室修了式が行われました

12月15日に食生活改善推進員育成のための栄養教室の修了式が行われました。

教室参加者は、全6回で子どもから高齢者までの食生活や生活習慣病予防等について学び、この日は自分たちで作成した献立を調理し、村長らが試食しました。

栄養教室の参加者は食生活改善推進員に委嘱され、これからの活躍が期待されます。

参加者が作成したメニューを紹介しますので、ぜひ作ってみてください。

大根おろしの煮びたし

材 料 2人分

大根 120g

大根菜 20g

打ち豆 10粒

めんつゆ(三倍) 小さじ2

作り方

- ① 大根と葉を切り分ける。
- ② 大根の皮をむき、おろし器でおろし、さっと水をきる。
- ③ 大根菜はみじん切りにする。(内側のやわらかい葉)
- ④ 鍋に大根のおろし汁、大根おろし、打ち豆、大根菜を入れて火を通す。
- ⑤ めんつゆを入れて味を調える。

〈栄養価一人分当たり〉

○エネルギー 38kcal

○たんぱく質 2.4g

○脂 質 1.1g

○食塩相当量 0.6g



あなたに直撃



にしい しんのすけ
西井 慎之助さん
(南中)

今月の「あなたに直撃」は、今年の干支（えと）辰年生まれを代表して、関川小学校6年生・西井慎之介さんに登場していただきます。

ぼくたち6年生の小学校での生活も終わりに近づいています。

ぼくは、中学生になったら卓球部に入りたいと思っています。スポーツが苦手なので、上手になれるか不安な気持ちもありますが、今年は、辰年の年男として、龍が天空に向かって登っていくように、ぼくも明るい未来に向かって登っていく1年にしたいと思います。

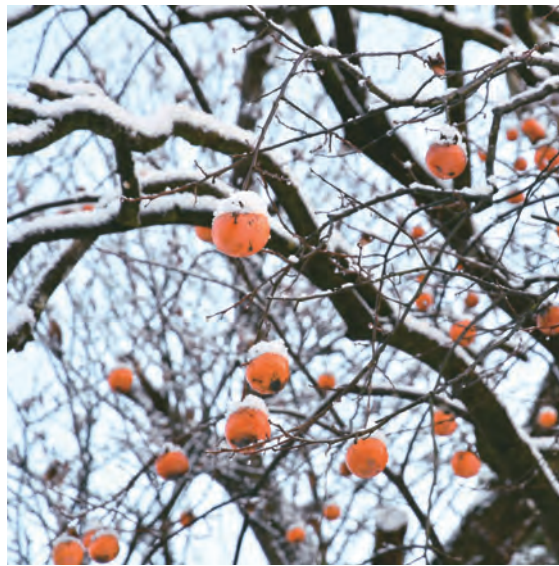
編集室から

▶新しい年がはじまりました▶12月は師走。1月は「いく」2月は「にげる」3月は「さる」ともいわれます。月日の過ぎるのが早いと感じます▶新年号、もっと内容を濃くしたいと思っていたのですが、ごめんなさい。力不足でした▶もっと読みやすい、親しみやすい広報紙づくりを目指します。(ま)

フォトギャラリー



冬になり彩（いろ）が乏しくなった今も、東桂苑の庭にある柿の木には黄色の実がたくさん残っています。前の晩に積もった雪のベレー帽をかぶって…。寒そうですね。



わが家の人気者

はる 遙くん(6歳)
れん 漣くん(4歳)
さくら 櫻ちゃん(1歳)

伊藤 亮さん 有紀さん(南中)



お友達と遊ぶのが大好きな、何でも一生懸命になれる遙。ちょっぴりはずかしがりやでお調子者、みんなを笑わせてくれる漣。一番小さいけれどお世話大好き！わが家のアイドル櫻。毎日、かわいい笑顔と元気をありがとう！これからも、すくすく育ってね。大好きだよ！